

いなべ市 議会だより

第8号

平成18年2月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報特別委員会



大安町石樽南の子どもたち(1月6日 石部神社にて)

伝統や文化が根付いている「まち」でこそ
地域の人たちが指導者となり
子どもたちに生きるための意義や
素晴らしさを伝えることができます

どんど焼きは、正月飾りや古いお札などを焼く行事。火にあると体が丈夫になり、また、この火で焼いた餅を食べると一年間病気をしないと伝えられています。

12月定例議会

目次

- 議長就任挨拶……………P2
- 議会構成……………P3
- 議員の紹介……………P4～P6
- 一般質問……………P7～P15
- 常任委員会付託案件審査……………P16～P18
- 議決結果……………P19

議長に太田 政俊氏 副議長に小川みどり氏が就任

12月1日、改選後初の議会（臨時会）において、議長、副議長を選出しました。議長の太田政俊氏は、在任特例期間に引きつづいての就任となります。



議長
太田 政俊



副議長
小川みどり

議長就任あいさつ

藤原岳に節分草が咲き始めると春の訪れです。市民の皆さまには、日々麗しくお過ごしのことと存じます。

さて私、昨年選挙後の12月臨時議会におきまして、議長に就任をさせていただきました。

新たなる意欲をもって、市民の負託に応えるため、円滑な議会運営に誠心誠意努めるとともに、いなべ市民の幸せといなべ市の発展にまい進する覚悟でございます。

市議会への一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、議長就任のごあいさつといたします。

いなべ市議会議長 太田 政俊



太田政俊議長の紹介

- ①住 所－北勢町東村
- ②自治会－東村東
- ③年 齢－65歳
- ④党 派－無所属
- ⑤当選回数（いなべ市議会議員）－2回
- ⑥趣 味－スポーツ（ゴルフ、野球など）
- ⑦抱 負－有言実行をモットーとして地域、いなべ市の発展に努力します

副議長の小川みどり氏、監査委員の位田まさ子氏の紹介は、議員紹介ページ（5ページ）に掲載しました。



監査委員
位田まさ子

監査委員に 位田まさ子氏

12月定例議会において、議会選出監査委員として位田まさ子氏を選出しました。任期は議会の申し合わせにより1年です。

議会構成

平成18年2月1日現在

議長	太田 政俊	副議長	小川みどり
----	-------	-----	-------

議会選出 監査委員	位田まさ子
--------------	-------

区分	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	近藤 幸洋	岡 英昭	城野 正昭
副委員長	出口 正	伊藤 和子	石原 瞭
委員	小林 昌彦	衣笠 民子	川瀬 利夫
	小林 俊彦	位田まさ子	川崎智比呂
	鈴木 順子	藤本 司生	種村 正巳
	水谷 治喜	小川みどり	林 正男
	奥岡 征士	水貝 一道	伊藤 弘美
	清水 保次		小川 克己

区分	委員長	副委員長	委員	
議会運営委員会	林 正男	鈴木 順子	川崎智比呂	藤本 司生
			水谷 治喜	水貝 一道
議会広報特別委員会	衣笠 民子	伊藤 弘美	小林 昌彦	位田まさ子
			奥岡 征士	小川 克己

桑名広域清掃 事業組合議会 議員	衣笠 民子			
桑名・員弁広域 連合議会議員	小林 俊彦	藤本 司生	清水 保次	水貝 一道
員弁土地開発 公社理事 (現在2名欠員)	林 正男		伊藤 弘美	小川 克己
	太田 政俊			

いなべ市議会だより

総務常任委員会に所属する議員 《議員の紹介》

①住所 ②自治会 ③年齢 ④党派 ⑤当選回数(いなべ市議会議員) ⑥趣味 ⑦抱負 ⑧他の役職

委員長 ^{こん どう ゆき ひろ} 近藤 幸洋



①藤原町本郷 ②本郷
③58歳 ④無所属 ⑤2回
⑥庭いじり
⑦新しい発想での市づくりを
目指し行動します

副委員長 ^{で ぐち ただし} 出口 正



①北勢町中山 ②麓村
③68歳 ④無所属 ⑤2回
⑥史跡めぐり
⑦地域に元気と活力、
くらしに安全と安心を

委員 ^{こ ばやし まさ ひこ} 小林 昌彦



①大安町石樽南 ②山条
③59歳 ④無所属 ⑤1回
⑥ゴルフ
⑦何事にも真面目な姿勢で
思いやりを大切に
⑧議会広報特別委員会委員

委員 ^{こ ばやし とし ひこ} 小林 俊彦



①大安町石樽下 ②石樽下
③60歳 ④無所属 ⑤2回
⑥スポーツ観戦、読書
⑦故郷の伝統行事を守り
災害のないまちに

委員 ^{すず き じゆん こ} 鈴木 順子



①大安町中央ヶ丘 ②中央ヶ丘
③52歳 ④公明党 ⑤2回
⑥音楽鑑賞
⑦ひとりを大切に。
人にやさしいいなべ市を！
⑧議会運営委員会 副委員長

委員 ^{みず たに ほる き} 水谷 治喜



①員弁町東一色 ②東一色
③39歳 ④無所属 ⑤2回
⑥映画鑑賞
⑦若さと行動力で頑張ります！
⑧議会運営委員会委員

委員 ^{おく おか せい し} 奥岡 征士



①員弁町大泉新田 ②石仏
③62歳 ④無所属 ⑤2回
⑥スポーツ
⑦「もっと近くで」
いなべ市の政治を語りたい
⑧議会広報特別委員会委員

委員 ^{しみず やす じ} 清水 保次



①大安町南金井 ②梅戸
③58歳 ④無所属 ⑤2回
⑥スポーツ観戦
⑦いなべ市民のための
安心・安全なまちづくりを

総務常任委員会の所管部署

《総務部》
総務課、法務課、財政課、職員課、管財課、納税課、市民税課、資産税課

《企画部》
企画課、情報推進課、都市計画課、広聴広報課、自然環境課

市長公室、出納室、総合窓口課、監査課

議会事務局－議事課・庶務課

教育民生常任委員会に所属する議員 《議員の紹介》

①住所 ②自治会 ③年齢 ④党派 ⑤当選回数(いなべ市議会議員) ⑥趣味 ⑦抱負 ⑧他の役職

委員長 ^{おか} 岡 ^{ひで あき} 英昭



①大安町石樽北 ②淵
③55歳 ④民主党 ⑤2回
⑥野球(教え子たちと岡ズ(ヒルズ)というチームをつくっています)
⑦市民に市政を
身近に感じていただく

副委員長 ^{いとう かずこ} 伊藤 和子



①北勢町北中津原 ②北中津原
③47歳 ④無所属 ⑤2回
⑥映画鑑賞、ショッピング
⑦女性の感性を活かして
身近な市政を目指します

委員 ^{きぬみ たみこ} 衣笠 民子



①大安町中央ヶ丘 ②中央ヶ丘
③43歳 ④日本共産党 ⑤2回
⑥エアロビクス
⑦台所の目線で
市政をチェックします
⑧議会広報特別委員会 委員長

委員 ^{いんでん まさこ} 位田 まさ子



①員弁町畑新田 ②畑新田
③58歳 ④無所属 ⑤2回
⑥映画鑑賞(洋画)、音楽鑑賞
⑦真心と行動力と思いやりを
信念として働きます
⑧監査委員、議会広報特別委員会委員

委員 ^{ふじもと しのぶ} 藤本 司生



①藤原町篠立 ②篠立
③50歳 ④無所属 ⑤2回
⑥旅行、武術(健康体操程度)
⑦ますます深刻となる高齢者対策
に努力したい
⑧議会運営委員会委員

委員 ^{おがわ} 小川 みどり

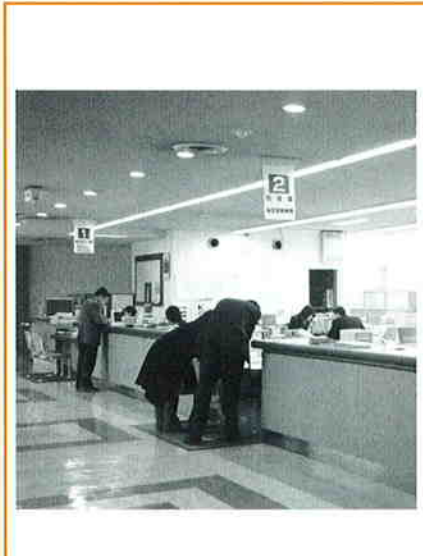


①大安町南金井 ②南金井
③64歳 ④無所属 ⑤2回
⑥読書
⑦市政に女性のやさしさと主婦の
きびしさを
⑧副議長

委員 ^{すがい かずみち} 水貝 一道



①員弁町下笠田 ②下笠田
③61歳 ④無所属 ⑤2回
⑥ゴルフ
⑦市民が安心して暮らせる
いなべ市の実現を目指します
⑧議会運営委員会委員



教育民生常任委員会の所管部署

《市民部》
市民課、保険年金課、医療課、
生活環境課
《福祉部》
福祉総務課、高齢障害課、
こども家庭課、人権啓発課、
保健衛生課、介護保険課、
保護課
阿下喜温泉準備室
《教育委員会》
教育総務課、学校教育課、
生涯学習課、スポーツ振興課

いなべ市議会だより

産業建設常任委員会に所属する議員

《議員の紹介》

①住所 ②自治会 ③年齢 ④党派 ⑤当選回数(いなべ市議会議員) ⑥趣味 ⑦抱負 ⑧他の役職

委員長 城野 正昭



①員弁町石仏 ②石仏
③65歳 ④無所属 ⑤2回
⑥ゴルフ
⑦市民の声を行政のパイプ役
および貢献に努力します

副委員長 石原 瞭



①北勢町東村 ②東村西
③64歳 ④日本共産党 ⑤2回
⑥音楽(合唱)、野菜づくり、囲碁、
釣り
⑦市民の声を市政に
市政を市民に!

委員 川瀬 利夫



①北勢町麻生田 ②楚里
③51歳 ④無所属 ⑤1回
⑥野球、ゴルフ
⑦活力があり、健康で明るい
まちづくりを目指します

委員 川崎 智比呂



①大安町中央ヶ丘 ②中央ヶ丘
③44歳 ④無所属 ⑤2回
⑥ドライブ、読書
⑦市民のための元気あるいなべ市
の実現を
⑧議会運営委員会委員

委員 種村 正巳



①員弁町北金井 ②北金井
③64歳 ④無所属 ⑤2回
⑥読書
⑦あなたの目線で議員活動に励み
ます

委員 林 正男



①藤原町大貝戸 ②大貝戸
③59歳 ④無所属 ⑤2回
⑥里山散策
⑦安心・安全・活気あるまちづく
りのため努力します
⑧議会運営委員会 委員長

委員 伊藤 弘美



①藤原町市場 ②市場
③63歳 ④無所属 ⑤2回
⑥釣り、スポーツ観戦
⑦信頼と融和
いなべ市の発展に努力します
⑧議会広報特別委員会 副委員長

委員 小川 克己



①大安町南金井 ②南金井
③68歳 ④無所属 ⑤2回
⑥ガーデニング
⑦明るく住みよい元気あるまちづ
くりのため頑張ります
⑧議会広報特別委員会委員

産業建設常任委員会の所管部署

《農林商工部》

農林水産課、農村整備課、
商工観光課

《建設部》

管理課、維持課、建設課、
地籍情報課、住環境整備課

《水道部》

水道業務課、水道工務課、
下水業務課、下水工務課

一般質問

安心・元気・思いやりがまちの宝物

いきいき笑顔 応援のまち いなべ

～ 平成17年 12月定例議会 ～

17人の議員が、いなべ市の「まちづくり」を^{ただ}質しました



小川 克己

市議会議員選挙における開票・投票所について

【質問】 ①開票結果が遅れた原因は。中間発表を行うにあたり、票数を100票単位で横並びに揃えるのはなぜか。揃える必要はないのでは。

②市内23の投票所の内訳は、北勢町8カ所、大安町4カ所、藤原町5カ所、員弁町6カ所であった。また、ポスター掲示板は市内171カ所中、北勢町64カ所、大安町32カ所、藤原町38カ所、員弁町37カ所となっており、非常にバランスを欠いている。見直しの必要があると思うがいかがか。

③掲示板・開票所の確認、事前点検はされたのか。

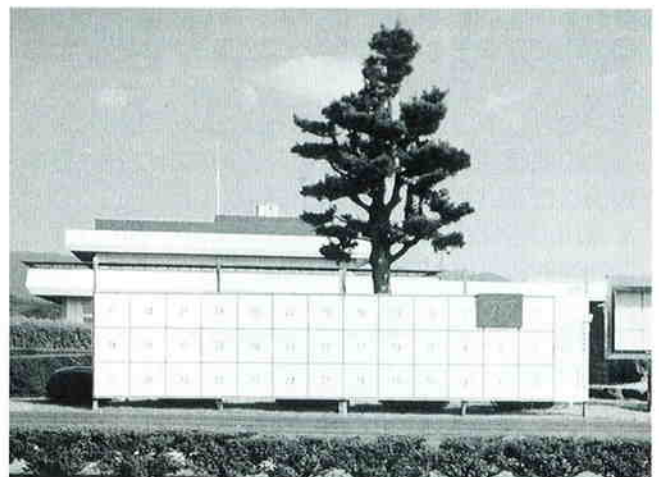
【総務課長】 ①開票作業中アクシデントがあったが、作業自体は順調であった。開票速報については迅速かつ正確性を踏まえて、今後、あらゆる手段・手法を検討していきたい。また、中間発表の票数については、自然の流れの中での結果を発表した。

②合併前と同じであるため、平成19年春の統一地方選挙までに調整を図りたい。

③ポスター掲示板の設置個所は、前回の衆議院選挙と同様であるが、今回は掲示板が大きかったため、事前確認を行い、10カ所ほど場所を移動した。今後は指摘を受けた点も踏まえ、見直しを行っていききたい。

また、開票所については、電気が消えた10時30分頃の時間帯での事前確認はしていないが、開票日2日前に3時間の事前リハーサルを実施した。

なお、今回の選挙に対しては「異議申立」の提出があり、現在、選挙管理委員会で調整中である。確定しだい報告する。



ポスター掲示板

伊藤弘美



フェロシルトの
早期完全撤去を

石原産業は、県の認定したものとは異なる廃液を混入したフェロシルト（土壌埋め戻し材）を不正に製造し、藤原町鼎地区に11万トン、大安町丹生川上地区に7千トンを運搬し、埋設した。フェロシルトの中には、有害物質の六価クロムやフッ素が含まれているため、住民の生活環境保全に支障が生じる。住民は危機感を持っている。早急な全量完全撤去を強く要望する。

- 【質問】** ①市独自の環境調査を行ったと聞かす、結果はどうだったのか。
②市として石原産業に対し、早期撤去につき、どのように強く働きかけていくのか。
③撤去後、再び産廃投棄の土地にならないようにするため、企業誘致などに際しての市としての対策は。

【市民部次長】 ①両地区とも六価クロムは検出されなかったが、フッ素が環境基準（1リットル当たり0.8mg）を上回った。丹生川上地区が2.3mg、藤原町鼎地区においては2.6mg検出された。
②石原産業には、早期に撤去するよう再三申し入れている。併せて県に対しても申し入れを行っている。今後は、計画どおり遅れずに撤去するかどうか監視していく。

【市長】 ③撤去し、安全な土地に戻すことが最優先。企業誘致などの活用策は地権者と相談しながら進める。この件については、今後の検討課題である。



藤原町鼎地区のフェロシルト埋設現場

川崎智比呂



フェロシルト問題の
対策は

【質問】 いなべ市内2カ所(藤原町鼎地区、大安町丹生川上地区)に搬入されたフェロシルトを、製品の問題性からも一刻も早く完全撤去されるように求める。

そこで、以下3点につき尋ねる。

- ①この問題が発覚するまでの降雨時における大量の流出した赤い水は安全であったのか。
②河川の自然環境への影響調査は実施するのか。
③問題対策に掛かる費用負担は。

【市長】 ①当時、雨水による赤い水により周辺濃度が一瞬高くなった可能性がある。しかし、大量の雨水により希釈され、水質は恐らく基準値以内に収まっていたと考える。

②今後、必要があれば実施したい。

③原因者が石原産業である以上、元の環境に戻すためのすべての費用負担は、石原産業の責任において行うようお願いする。

今後、市としては、フェロシルトの搬入先の土壌汚染が進まないよう、独自で調査を進める。また、市として石原産業に対しては、搬入先周辺および河川に関わる皆さんに安心していただけるよう、一刻も早い全量撤去と、安全な土壌、環境に戻すことを要望していきたい。





岡 英 昭

◇高齢者、障害者に
やさしい市政を
◇2007年問題と
省エネ対策

【質問Ⅰ】 車の運転ができないお年寄りのため、市内全域から「いなべ総合病院」を結ぶ交通アクセスを。

【市長】 平成18年度からコミュニティバスの実証実験を行う。平成21年度には市内全域に公的バス路線を整備したい。

【質問Ⅱ】 障害児のデイサービスに対し、教育的な支援体制を。

【市長】 教職員の障害児に対する指導力向上のため、研修も行っており、施設の了解を得ることができれば施設での教職員研修も実施したい。さらに、今後は、教育委員会と福祉部との連携により、デイサービス施設へも教育的な支援ができるよう指導し

ていきたい。

【質問Ⅲ】 団塊の世代といわれる人々が大量に退職することによる「2007年問題」。これは市職員にも起きうるのか。

【市長】 市職員の退職者のピークは7～8年後であるため、大きな影響はない。

【質問Ⅳ】 公共施設の新設・改築の際には、省エネ対策を。

【教育次長】 温暖化対策推進法による計画を実行していきたい。阿下喜温泉建設などには、夜間電力を利用し取り組んでいる。なお、今後、公共施設の建築段階で省エネ設備が組み込めるものは導入し、補助金を使えるものは活用していく。



いなべ総合病院



鈴木 順 子

◇障害者福祉施策
◇少子化対策

【質問Ⅰ】 心身に重度の障害のある方や高齢者に対し、タクシー利用料金の一部を助成すべきと考えるがいかがか。

【市長】 重度の身体障害者に対しては、平成18年4月1日から実施できるよう検討する。

【質問Ⅱ】 障害者が地域で生活するためには「障害者地域生活支援センター」の設置が必要である。今後の「いなべ市」の取り組みと計画につき尋ねる。

【市長】 国からの指示により、桑員地区に「障害者地域生活支援センター」を設置することを検討している。

【質問Ⅲ】 不妊治療に要する費用の助成制度を「いなべ市」としても考えるべきではないか。

【市長】 平成18年度予算の中で、県の「特定不妊治療助成事業」に上乘せし、実施できるよう検討する。

【質問Ⅳ】 乳幼児医療費の無料化を、次世代育成の観点から就学前までに拡大すべきである。

そこで、拡大した場合、対象者は何人か。また、市の負担はどれくらいになるのか。

【市長】 対象者は1,100人。市の負担は3,300万円と予想する。拡大すれば、事務が莫大となる。そのため「いなべ市」としては、平成18年4月から高額な入院に限り、就学前まで助成できるような検討を行う。





出口 正

I. 平成18年度の
予算編成
II. 阿下喜温泉について

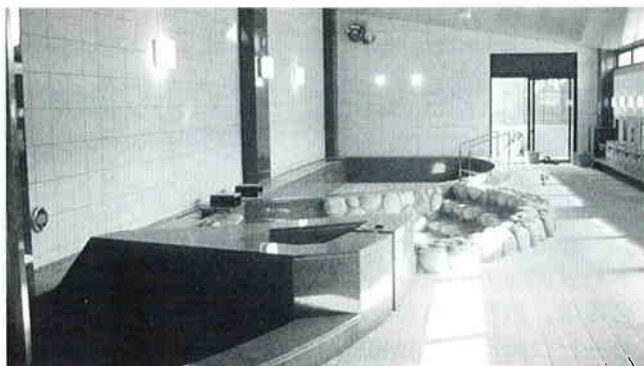
【質問Ⅰ】 三位一体の改革と長引く景気不況で、地方財政に及ぼす社会経済環境は極めて厳しい状況である。高齢化社会を迎え、介護保険・医療などハード・ソフトの体制整備が必要。地方分権改革の推進に併せて地方自治の真価が問われ、厳しい状況の時に歳出の見直し、歳入の有効活用が必要であると思う。速やかに財政構造改革に取り組み、市民の負託に応えることが重要ではないか。

【市長】 厳しい行政環境のもと、自主性・自立性を保持する行政基盤を確立していきたい。歳出全般にわたり徹底した見直しを行い、自主財源の確保に努め、早急に190億円を越す予算規模を165億円規模にする必要があると考える。当市は長期にわたる自主財源である企業の設備投資に係る固定資産税による多くの税収がある。そのため、今後企業が設備

投資ができる環境整備と積極的な企業誘致に努める。財政状況は、自主財源の根幹をなす市税収入が良好であるが、個人所得の減少や地価の下落によって現状に推移する見込みである。

【質問Ⅱ】 ①オープン予定。②年間目標利用者数6万人の根拠。③18年度収支予想はどうか。

【市長】 ①オープンは3月21日。②市内利用者数13,000人。市外利用者数47,000人を予想。③歳入2,700万円 歳出8,500万円。歳出超過は、健康になること、福祉温泉であるという面で理解いただきたい。



阿下喜温泉の浴室



水谷 治喜

石榑小学校解体工事の
随意契約について

【質問】 市は石榑小学校の旧校舎の解体工事として8,715万円業者との随意契約を行ったが、8,000万円を超える公共事業を随意契約することは、常識の範囲を超えている。到底納得できるものではない。契約を競争入札でやり直すべきではないか。

①随意契約した理由。②契約額の根拠。③随意契約の最終の決断者（責任者）。④合併後、他の事業においても随意契約の規則額を超える契約をしていないか。

【答弁】 ①行政にとって有利な契約（参考価格の63%）であった。また、同一敷地内で建設、解体の両方を行うため、同じ業者の方が安全確保の面からも良く、作業もスムーズに行うことができる。②設計価格を基に、契約業者の落札率や交渉により決定した。③市長である。④数百件以上。

【再質問】 現在の技術では、同一敷地内という理由だけでは納得できない。①設計価格の算定を行った設計業者は、随意契約、入札のいずれによって決めたのか。②市長は、市議会の役割をどう考えているのか。

【答弁】 ①新石榑小学校建築にあたった設計業者に依頼した。②市長と議会は「いなべ市」の両輪。

【再々質問】 市長は、今回の随意契約がベストであったと思っているのか。また、答弁は執行部の総意によるものであるのか。

【市長】 そうである。



解体前の石榑小学校旧校舎

小林 俊彦



小学校通学路の 安全性は

【質問】 平成17年11月末と12月初めに小学校児童が下校途中に殺害されるという、痛ましい事件が続いて発生した。市内ではバス通学を実施している学校もあるが、ほとんどの学校では徒歩通学である。そのため、1人で下校する児童が多いと思われるが、そういった場合の対策はあるのか。

また、市内の小学校の児童には防犯ベルが配付されているが、人通りのない場所でベルを鳴らしても気付く人は少ない。防犯ベルに代わる対策はないのか。

【教育長】 登校については、集団登校を市内全ての小学校で実施しているが、下校時にはバラバラである。今までは、通学路を決めるにあたり、交通安全面を考慮し設定していたが、事件の多発して

いる状況を鑑み、校長会の席で防犯面も考慮した検討を依頼した。また、下校時において児童1人になった場合の対応として、警察から不審者情報連絡があれば、即、安全のための対応をしている。

また、地域住民の協力も必要であるため、散歩やジョギングをされる方に対し、時間・コースを下校する児童に合わせていただけるような働きかけも行っていきたい。



位田まさ子



障害者への働く場を

【質問】 この度の自立支援法案で、今後どうなるかわからないが、軽度の障害者が義務教育を終了したときの働き口や職探しに尽力してほしい。行政はもちろん、企業・商工会にも働きかけ、障害者の自立を助けるため、市も援助をし、動いてほしい。

【市長】 「障害者自立支援法案」に対しては、賛否両論ある。障害者が自立できるよう、国も市も考えているが、一般就労はなかなか難しいため、福祉就労が中心になると思う。障害を持った子が、とりあえず高校を卒業した時点で、全員の就職先をアドバイスし、支援していきたい。そのために「障害者就労移行支援事業」・「就労継続支援事業」・「就労支援ワーカーの設置」など、障害者福祉計画策定の中で具体化していく。については、意見も聞かせてほしい。

また一例として、大手企業（デンソー）と福祉施設（太陽）が提携し、福祉施設ではあるが就労の形態をとっている「デンソー太陽」という福祉工場のようなものが愛知県にある。障害者が福祉就労から一般就労となるようこれからも企業に働きかけるなど努力する。

【福祉部長】 一般の就労の職親は、現在「いなべ市」で3名。指導を受けている障害者は4名。他は、ほとんどが福祉就労で78名（市内、市外）。今後「障害者支援ワーカー」2名を専門に置き、障害者就労支援に向け努力する。



いなべ市議会だより



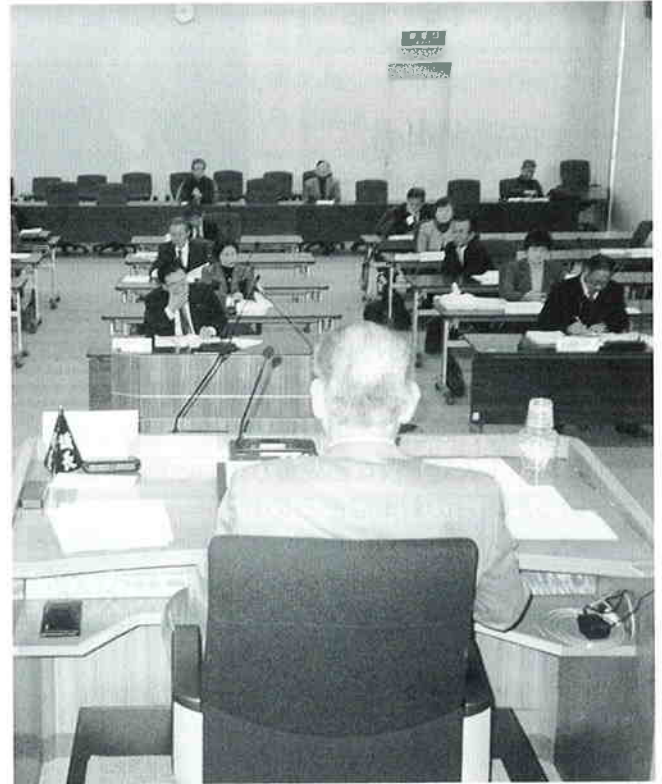
小川みどり

専決処分について

【質問】 専決処分の議会承認を求める年間の件数は、少ない市町村で2～3件、多い市町村で5～6件であるが、平成17年度の「いなべ市」の専決処分件数は8件と多い。

市長が専決処分できるものには4項目あり、その中でも、特に重要な税条例の改正、補正予算等の専決処分は極力避けるべきと考えるがいかがか。「いなべ市」の専決処分は多すぎる。

【市長】 専決処分は、国、県、災害等の関係で、早急な処分を要し、議会を招集する時間的余裕がない場合、やむを得ず実行している。今後も内容を精査し、専決処分をできるだけ少なくするよう努めていきたい。



奥岡 征士

いなべ市総合計画
について



【質問】 私は議員活動を通し、いなべ市内をつぶさに回った。そのことを踏まえ、本定例会で上程された「いなべ市総合計画基本構想案」につき5点の質問をする。

- ① 「いなべ市の行政、政治をもっと身近に感じたい」という声が多くあった。市政報告会などにより、情報提供を行う必要性について問う。
- ② 「いなべ市のセールスポイント」が見えてこない。若者が定住したくなるような「いなべ市づくり」の妙案はあるのか。また、住民税優遇策や新築住宅奨励金制度の制定を。
- ③ 旧4町それぞれにある、素晴らしい歴史文化や習慣につき、市民が知らない部分がたくさんある。先ず、いなべ市民にそれらのことを知っていただくべきだと考えるが。

④ 将来の「環状いなべ線構想」と「国道421号線」の具体的な渋滞解消策の提示を。特に「桑員山麓道路」の実現性はどうか。

⑤ 新庁舎を建設し、総合庁舎方式により効率経営を考えた行政改革構想はあるのか。

【市長】 ①自治会など各種団体から要請があればやりたい。

②住宅団地の小開発などの援助ができれば、宅地化が進む可能性が多いのではないかと思います。

③提案を参考にしていく。

④関係機関に働きかけていく。

⑤現在のところ考えていない。



藤本 司 生

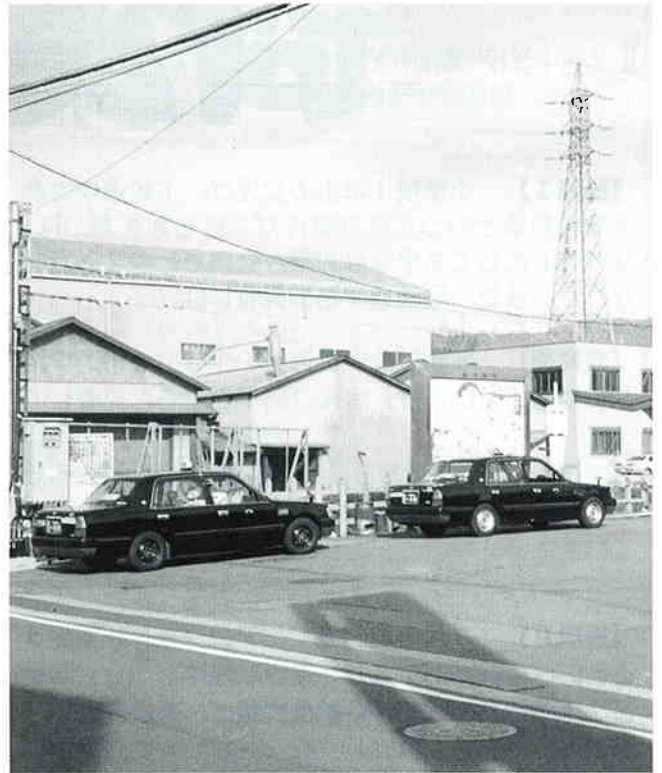


障害者タクシー券 (利用助成)について

【質問】 障害者のタクシー券(利用助成)の問題は過去、一般質問で何度も取り上げられたものの、いずれもスッキリした答えはなかった。合併後、市民のためになる目に見えた成果がなかなか出てこないことを残念に思っている。このタクシー券に関しては、市長の政治的な勇断をもってすれば可能なはずである。障害者の方々は、他の市で行われているのに、なぜ「いなべ市」ではできないのかという思いが強いと聞いている。明日からとは言わないが、具体的な予定、導入時期を明確に打ち出してほしい。

【市長】 「いなべ市」の障害者のタクシー利用助成については、平成18年4月1日から、重度心身障害者タクシー利用助成制度として初乗料金630円を助成させていただく。そのため、1人につき1枚630円のタクシー券を月2回、年間24枚発行する。

なお、対象者は重度の知的障害者、身体障害者1・2級、精神障害1級の方で、通院などのためタクシーを利用される場合に限られる。



清水 保 次

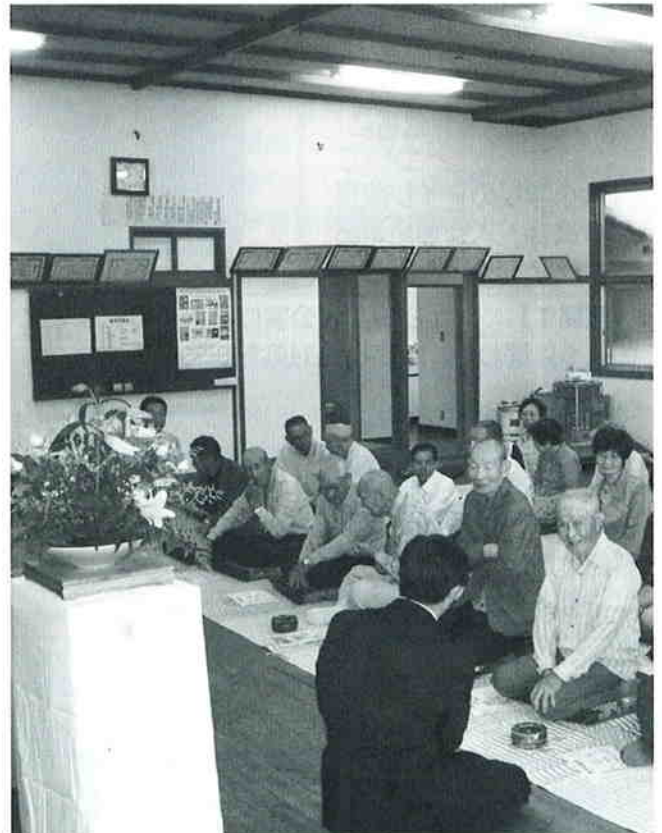


敬老会の補助金 申請手続きの 簡素化を

【質問】 敬老会は、地域ふれあいの趣旨から従来の各町を単位とし役場が主催した敬老会から、地域の老人会や自治会が主催する「ふれあい敬老会」に変わった。

そのため、地域の老人会や自治会では、煩雑な敬老事業の補助金の申請手続きを行わなければならない、大変苦慮されていると聞く。せめて「ふれあいサロン」や「自治会の広報配布委託金」の申請のように手続きを簡素化すべきと考えるがいかがが。

【市長】 敬老会は、平成18年度も今年度同様の方法で実施したいが、その際には、補助金制度から委託金のような形で計上させていただき、もう少し手続きが簡素化できるよう検討をしていきたい。



ふれあい敬老会

いなべ市議会だより

伊藤 和子



- I. 子どもの安全対策を
早急に
- II. 北勢中学校・員弁中学校の
早期給食実施を

【質問Ⅰ】 小学校1年生の女兒が、下校途中に命を奪われるという悲惨な事件が2件も起きた。「いなべ市」としても早急な対策が必要だと考えるがいかがか。また、危険通学路の見直しは。

【教育長】 今までは、交通量の少ない道を通学路として考えていたが、今後は防犯を中心に見直していく。

【市長】 「地域ぐるみ」で、安全対策を進めるため、自治会長会にもお願いし、地域の防犯力を高めていきたい。

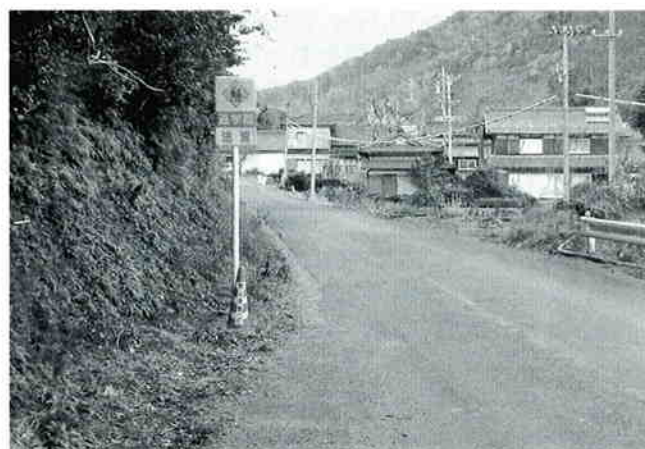
【質問Ⅱ】 9月の定例会で、アンケートを実施するという答弁があったが、進行状況はどうか。合併後2年間待ち続けてきた給食問題は、最優先に取り組むべきである。これ以上遅れるのなら、市長は市民

の皆さんに何と説明するのか。

【教育次長】 アンケート用紙は、員弁町・北勢町の小・中学校に配布した。年度内に分析し、結果が出たら報告する。

【市長】 市内全ての保育所・小学校に対し、米飯給食を実施した。給食については、コストのかからない方法により、早期実施を考えていきたい。

現在は、給食問題よりも、旧町からの引継ぎ事項を最優先課題として取り組んでいるので、ご理解いただきたい。



北勢町鼓地内の通学路

城野 正昭



- I. フェロシルト公害について
- II. 小学校のトイレ改良
- III. 員弁・大安連絡道路

【質問Ⅰ】 フェロシルト公害につき、市としてどのように関わり、どういう対処をしているのか。

【市長】 今後は、県とともに地元説明会を実施し、環境への影響が出ないよう、地下水調査を断続的に実行し、住民に安心いただけるよう努力する。撤去時期は、大安町丹生川上地区が1月末から2月末。藤原町鼎地区が2月下旬から7月末予定。市としては、搬出時期が遅れないよう監視していく。

【質問Ⅱ】 市内には、洋式トイレのない学校が多くあり、子どもたちが用便に苦労していると聞く。部分的にでも洋式トイレに改良すべきであるがいかがか。

【教育次長】 洋式トイレの無い学校は、員弁町と北勢町の学校に多い。今後は、和式トイレの良さも保持しつつ、平成17年度内に調査を行い、平成18年度には各フロアのトイレを部分的に洋式に改良する。

【質問Ⅲ】 「いなべ総合学園」東の、員弁川橋梁から員弁町内の国道421号に接続する道路を吉備川に沿って「ヨシツヤ」西の、池ノ脇交差点に向け接続する案が出ているが、その進捗状況は。

【建設部長】 県道四日市・員弁線のバイパス道路としての事業化を県と協議中。平成18年度中に地元説明会を開催し、いなべ市都市計画審議会でも都市計画道路に決定したい。着工予定は平成21年度以降。今後は県に対し、早期着工を要望していく。





衣笠 民子

- I. 子どもの医療費の無料化
“小学校入学前まで引き上げを”
- II. 小・中学校通学路の安全対策
“住民の声を大切に最優先で”

【質問Ⅰ】 ①市の少子化対策は。②現在、3歳までの子どもの医療費無料が実施されている。市単独で小学校入学前まで引き上げるにはどれだけの金額が必要か。③「窓口において無料」になるよう求める。

【市長】 ①子どもの健康確保の1つとして、乳幼児医療費の助成を継続していく。②年間約3,300万円。③県の制度(窓口で一度支払い、後で医療費が返戻される)に統一されているので現状どおり運営をしていきたい。

【再質問】 ①今までどおり、入院も通院も無料のまま、年齢を引き上げるべきではないか。②市独自で「窓口において無料」になるよう「いなべ総合病院」に協力を要請してほしい。

【市長】 ①小学校入学前までに拡大することについては、入院に限っての無料化を平成18年4月から実施する予定。②「窓口においての無料化」については、現制度が県統一制度であるため、市単独で改善すれば大混乱を引き起こす。そのため、県の制度改正の中で議論していきたい。

【質問Ⅱ】 これからの安全なまちづくりには、住民と行政の協力・共同の関係が大切になってくる。そのため、通学路の危険箇所の改善は、教育委員会が窓口となり、住民に経過説明や対処をすべきである。

【市長】 要望に対し、たとえば、防犯灯は総務部、街路灯は建設部というような対処をしている。市全体として子どもの通学路の安全に取り組んでいる。



石原 瞭

- I. 産業廃棄物と環境
- II. 阿下喜温泉について

【質問Ⅰ】 ①フェロシルト問題につき、撤去跡地の安全についてはどのように考えているのか。怪しい場所は総点検が必要である。また、一連のフェロシルト騒ぎで市として学んだ教訓は何か。②アスベスト対策につき、撤去工事の実施にあたっては周辺住民に説明をしているのか。③環境問題においての、監視の必要な箇所とその体制は。

【市長】 ①早急な撤去と影響調査を徹底していく。③開発行為の許可申請の場所については、監視をしている。県とも連携を強化して、疑義がある場合や不穏な動きがあれば、市としても監視をしていきたい。

【総務部長】 ②見やすい所に作業内容を掲示している。

【質問Ⅱ】 デイサービスの計画、パワーリハビリスペースの利用計画、元気クラブ体験スペースの利用計画、市の福祉計画の中の位置付け、維持管理費用(平成18年度歳出見込額8,500万円の内訳)につき尋ねる。

【市長】 デイサービスは、当面行わない。パワーリハビリは、介護保険制度の改革の方向が変わったため、一般のトレーニングルームとして使用する。維持管理費用の内訳は、来年度予算案で示す。



3月21日にオープンする阿下喜温泉

常任委員会の審査結果

総務常任委員会

総務常任委員会が付託を受けた案件は、議案9件、認定1件でした。審査は12月19日、員弁庁舎で委員全員出席のもと行いました。

《審査の内容と結果》

議案第62号「いなべ市総合計画基本構想の制定について」 **〈全会一致可決〉**

議案第63号「いなべ市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について」

※下記事項につき、長期継続契約の締結ができるようにするための議案です。

1. 機械または器具（車両を含む）の賃貸借に関する契約
2. 情報処理に係る事務に関する契約
3. 庁舎等の維持管理に関する契約 **〈賛成多数可決〉**

質問 今までの単年度契約から長期契約にすることの趣旨は。また、契約期間は6年以内となっているが、契約の透明性、公平性の観点からみれば3年以内が妥当ではないか。

答弁 趣旨は経費と事務効率。6年以内としたのは、契約目的により年数が異なるからである。

議案第65号「いなべ市税条例の一部を改正する条例について」

※阿下喜温泉設置に伴う、入湯税に関する条例改正の議案です。 **〈全会一致可決〉**

質問 入湯税は「いなべ市」に入ってくるのか。

答弁 公設の浴場ということで、課税については免除できることとなっている。

議案第67号、議案第69号「三重県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少について」

※県内他の市町村の合併に伴い、議会の議決が必要のため上程された議案です。 **〈全会一致可決〉**

議案第68号、議案第70号「三重県市町村職員退

職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び三重県市町村職員退職手当組合同約の変更について」

※県内他市町村の合併に伴い、議会の議決が必要のため上程された議案です。 **〈全会一致可決〉**

議案第71号「字の区域の変更について」

※員弁町松之木および岡丁田地区の字の区域を変更するための議案です。 **〈全会一致可決〉**

議案第74号「平成17年度 いなべ市一般会計 補正予算 第7号」のうち、総務常任委員会の所管 **〈全会一致可決〉**

認定第2号「平成16年度 いなべ市一般会計 歳入歳出決算認定について」のうち、総務常任委員会の所管 **〈全会一致認定〉**

質問 市税の収入未済への対策はどのように行ったのか。

答弁 新規の滞納者が出ないように、何度も徴収に出向いた。

質問 大安町にある「野入溜」の賃借については、大安町時代に契約し、合併後は市が引き継いで再契約した。賃借料は年間1,000万円。10年間の契約と聞いている。今後、金額を減らす交渉はしないのか。

答弁 「有効期間満了日の前1ヵ月までに契約相手から意思表示がない場合は、当該期間満了の日からさらに1年間この契約を更新したものとみなし、その後においても同様とする。」という但し書きがある。そのため、相手からの意思表示がなければこのまま続けていく。開発地域内にある緑地であり、自然環境保全地域としても残していかなければならないと考えている。



野入溜のある緑地(右上)

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会が付託を受けた案件は、議案4件と認定4件でした。審査は12月19日、20日の両日、大安庁舎において委員全員出席のもと行いました。

《審査の内容と結果》

議案第64号「いなべ市健康増進施設阿下喜温泉条例の制定について」

阿下喜温泉の使用料

区分	単位	使用料	適用
一般	1人1回	400円	小学生以上
	回数券(12回分)	4,000円	

〈賛成多数可決〉

質問 小学生以上の浴場料金は、1回400円となっている。小学生を半額にするなどの検討はしたのか。

答弁 料金については、近隣の温浴施設を参考に検討した。400円は、他の施設の小人の料金と比べても高くはない。

質問 一般の利用者と他の事業で利用される方とで利用時間を分けないのか。

答弁 限られた時間に、より多くの方に利用していただくため分けなかった。

反対討論 阿下喜温泉は、商業目的では採算がとれないため、住民の健康福祉増進という目的に変更した。しかし、市外の利用者を市内の利用者の3.6倍と見込んでいるが、本当の意味での地域活性化につながらない。さらには、建設や今後の維持管理に市民の貴重な税金が投入されていく。市民のための健康増進に税金は使うべきである。今一度、市の福祉計画の中での位置づけをはっきりさせ、市民に喜ばれる運営を求め反対する。

議案第74号「平成17年度 いなべ市一般会計 補正予算 第7号」のうち、教育民生常任委員会の所管 〈全会一致可決〉

質問 敬老事業費補助金100万円の増額補正の理由は。

答弁 当初の見積では、市内8割ほどの地域で敬老事業が行われると想定し1,000万円を計上したが、ほとんどの地域で行われたため、不足分として100万円を計上した。

質問 老人保健事業費1,796万円を減額しようとする

理由は。

答弁 各種検診が終了した結果による。当初受診申し込みをいただいた方のうち、受診された方は7割弱であった。そのことが減額の大きな要因である。

議案第76号「平成17年度 いなべ市国民健康保険特別会計 補正予算 第1号」 〈全会一致可決〉

議案第77号「平成17年度 いなべ市老人保健特別会計 補正予算 第1号」 〈全会一致可決〉

認定第2号「平成16年度 いなべ市一般会計 歳入歳出決算認定について」のうち、教育民生常任委員会の所管 〈賛成多数認定〉

質問 「住民基本台帳ネットワークシステムにかかる費用対効果」と「住民基本台帳カードの交付状況」は。

答弁 住民基本台帳ネットワークシステムにより、年金の現況届などで住民が庁舎へ出向き、証明を受けるといった手間が省かれた。

また、住民基本台帳カードの交付件数は、平成17年3月末現在で67件。主に身分証明書を持ってみえない方に利用いただいている。

質問 「あじさいクリーンセンター」の耐用年数は。また員弁町のゴミも「あじさいクリーンセンター」で受け入れることはできないか。

答弁 「あじさいクリーンセンター」は、平成5年から稼動している。今後は修理をしながら、できるだけ長く使用していきたい。

現在の「あじさいクリーンセンター」では、員弁町のゴミに対応する能力がない。

反対討論 「いなべ市」は合併に伴い、財政の効率化を図り、財政規模を圧縮する必要に迫られている。財政を見直す場合、市民生活の質を落とさず、市民のニーズに応えることが大切である。そういった視点でみれば、住民基本台帳ネットワークシステムは、カードの交付数も少なく、必要性を感じられない。また、教育委員会の所管に関し、机・椅子を毎年新しく購入していくという施策は、現場からの要求ではなく、賛成できない。

認定第5号「平成16年度 いなべ市国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定について」〈全会一致認定〉

認定第6号「平成16年度 いなべ市老人保健特別会計 歳入歳出決算認定について」〈全会一致認定〉

認定第7号「平成16年度 いなべ市介護保険特別会計 歳入歳出決算認定について」〈全会一致認定〉

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会が付託を受けた案件は、議案 8 件と認定 5 件でした。審査は、9 月 19 日藤原庁舎において委員全員出席のもと行いました。

《審査の内容と結果》

議案第 66 号「いなべ市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について」 **〈全会一致可決〉**

議案第 72 号「議決事項の変更について」 **〈全会一致可決〉**

議案第 73 号「いなべ市道路線の認定について」 **〈全会一致可決〉**

議案第 74 号「平成 17 年度 いなべ市一般会計 補正予算 第 7 号」のうち、産業建設常任委員会の所管 **〈全会一致可決〉**

議案第 75 号「平成 17 年度 いなべ市住宅新築資金等貸付事業特別会計 補正予算 第 1 号」 **〈全会一致可決〉**

議案第 78 号「平成 17 年度 いなべ市農業集落排水事業特別会計 補正予算 第 1 号」 **〈全会一致可決〉**

議案第 79 号「平成 17 年度 いなべ市下水道事業特別会計 補正予算 第 2 号」 **〈全会一致可決〉**

議案第 80 号「平成 17 年度 いなべ市水道事業会計 補正予算 第 1 号」 **〈全会一致可決〉**

質問 メーター機の購入は随意契約で行ったのか。

答弁 年度当初に入札を行った。

認定第 2 号「平成 16 年度 いなべ市一般会計 歳入歳出決算認定について」のうち、産業建設常任委員会の所管 **〈賛成多数認定〉**

質問 サルの被害対策のため、駆除の委託契約をしているが成果は。また、以前は 1 頭あたり駆除に対する報酬を支給されていたが、現在はどうなっているのか。

答弁 現在も 1 頭あたり 2 万円を支給している。また、猟友会に委託し、春と秋にそれぞれ 1 ヶ月間、有害鳥獣駆除業務（サルに限らず）を行っている。

反対討論 阿下喜温泉の施設の設計費が含まれているため反対する。

認定第 3 号「平成 16 年度 いなべ市住宅新築資金等貸付事業 歳入歳出決算認定について」 **〈全会一致認定〉**

認定第 4 号「平成 16 年度 いなべ市農業公園事業特別会計 歳入歳出決算認定について」 **〈全会一致認定〉**

質問 ハード面が終わり、ソフト面の事業に入る。ソフト面の充実を考える上で、今後は、市単独でいくのがよいのか、また、第 3 セクター方式でいくのか

答弁 収支バランスを考慮し、平成 18 年から平成 19 年にかけて検討していきたい。

認定第 8 号「平成 16 年度 いなべ市農業集落排水事業特別会計 歳入歳出決算認定について」 **〈全会一致認定〉**

認定第 9 号「平成 16 年度 いなべ市下水道事業特別会計 歳入歳出決算認定について」 **〈全会一致認定〉**

フェロシルト問題

石原産業が経緯と対策につき議会へ説明

議会は、フェロシルト問題を懸念し、急きよ市長を通じ、石原産業に対し状況説明を求めました。石原産業は要請に応じ、定例議会会期中の 12 月 16 日に開いた議員全員協議会の場において、四日市工場の渡辺執行役員ほか 2 名が経緯と対策につき説明を行うとともに議員からの質疑を受けました。

市内 2 カ所（藤原町鼎地区、大安町丹生川上地区）に搬入された有害なフェロシルト（土壌埋め戻し材）。説明に対し議会は、地元住民が 1 日でも早く安心して生活ができるよう、安全な方法でフェロシルトを回収し、搬入された土地を搬入前の状態に戻すことを強く求めました。



お詫びをし、状況説明をする石原産業四日市工場の渡辺執行役員。右端は議長。



石原産業の説明を聴く議員（北勢庁舎議員控室にて）

議決結果

臨時会で審査を行った案件

12月1日に開いた臨時会で、以下の案件の審査を行いました。主な案件の議決結果を報告します。

- ◇ 承認第8号「専決処分の承認を求めることについて（平成17年度いなべ市一般会計補正予算 第6号）」 承認
市議会議員選挙費516万2千円を予備費から流用するための補正予算。

〔専決処分とは〕

緊急を要し、議会を召集する暇がない場合などに限り、議会可決を経ずして予算執行などができることをいいます。なお、次期議会で報告を行い、軽易なものを除き、承認を諮らなければなりません。

- ◇ 議案第59号「いなべ市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について」 可決
改正に伴い、議員の報酬（月額）は次のようになりました。

議 長	495,000円
副 議 長	420,000円
議 員	390,000円

定例会で審査を行った案件

12月定例議会（8日から26日）で、以下の案件の審査を行いました。議決結果は以下のとおりです。

《委員会付託を省略した案件》

- ◇ 諮問第4号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」 適任
議決を経て、伊藤久子氏（員弁町東一色）が推薦されました。
- ◇ 同意第3号「いなべ市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」 同意
議決を経て、寺本夏み子氏（大安町石樽北）が選任されました。
- ◇ 同意第4号「いなべ市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」 同意
議決を経て、玉野勤氏（藤原町坂本）が選任されました。
- ◇ 同意第5号、同意第6号「いなべ市監査委員の選任につき同意を求めることについて」 同意
議決を経て、羽場恭博氏（藤原町山口）が代表監査委員に、位田まさ子氏が議会選出監査委員に選任されました。

《委員会付託をした案件》

主な案件は、次のとおりで、すべて可決・認定しました。なお、委員会での審査内容と結果は、16ページから18ページに掲載しましたのでご覧ください。

- ◇ 議案第62号「いなべ市総合計画基本構想の制定について」
いなべ市が事務を処理するに当たっては、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、この基本構想に即して行われます。
- ◇ 議案第63号「いなべ市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について」
- ◇ 議案第64号「いなべ市健康増進施設阿下喜温泉条例の制定について」
施設は、3月21日（火、祝）にオープンします。
- ◇ 議案第65号「いなべ市税条例の一部を改正する条例について」
- ◇ 議案第66号「いなべ市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について」
- ◇ 議案第67号、議案第69号「三重県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少について」
- ◇ 議案第68号、議案第70号「三重県市町村職員退職手当組合

を組織する地方公共団体の数の増加及び三重県市町村職員退職手当組合規約の変更について」

- ◇ 議案第71号「字の区域の変更について」
- ◇ 議案第72号「議決事項の変更について」
- ◇ 議案第73号「いなべ市道路線の認定について」

補正予算

- ◇ 議案第74号「平成17年度いなべ市一般会計補正予算第7号」
- ◇ 議案第75号「平成17年度いなべ市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算第1号」
- ◇ 議案第76号「平成17年度いなべ市国民健康保険特別会計補正予算第1号」
- ◇ 議案第77号「平成17年度いなべ市老人保健特別会計補正予算第1号」
- ◇ 議案第78号「平成17年度いなべ市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号」
- ◇ 議案第79号「平成17年度いなべ市下水道事業特別会計補正予算第2号」
- ◇ 議案第80号「平成17年度いなべ市水道事業会計補正予算第1号」

上記補正予算の内訳は次のとおりです。（単位：千円）

区 分	補正前の額	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	19,202,350	△57,320	19,145,030
住宅新築資金等貸付事業	56,300	38,260	94,560
国民健康保険	3,390,940	405,057	3,795,997
老人保健	4,264,000	265,852	4,529,852
農業集落排水事業	279,200	1,020	280,220
下水道事業	2,214,900	14,043	2,228,943
水道事業	1,605,303	△62,760	1,542,543

決算認定

- ◇ 認定第2号「平成16年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第3号「平成16年度いなべ市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第4号「平成16年度いなべ市農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第5号「平成16年度いなべ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第6号「平成16年度いなべ市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第7号「平成16年度いなべ市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第8号「平成16年度いなべ市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について」
- ◇ 認定第9号「平成16年度いなべ市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について」

議員提出案件

- ◇ 発議第15号「道路整備の促進及び道路特定財源の確保を求める意見書の提出について」
関係行政庁へ意見書を提出しました。

総括質疑

案件の審査を委員会に付託する前の本会議（12月16日）で、案件に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は以下の7人でした。

質疑通告書提出順

- ①岡 英昭 ②川崎智比呂 ③水谷治喜 ④衣笠民子
⑤小川みどり ⑥石原 瞭 ⑦種村正巳

議会活動日誌

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
12月 1日(木)	臨時議会	北勢庁舎	12月20日(火)	教育民生常任委員会	大安庁舎
2日(金)	議会運営委員会	員弁庁舎	26日(月)	12月定例会 本会議《最終日》	北勢庁舎
8日(木)	12月定例会 本会議《開会日》	北勢庁舎	〃	広報特別委員会	〃
〃	広報特別委員会	〃	1月10日(火)	広報特別委員会	員弁庁舎
13日(火)	12月定例会本会議(一般質問)	北勢庁舎	12日(木)	議会運営委員会	員弁庁舎
14日(水)	〃 (〃)	〃	19日(木)	議員全員協議会	北勢庁舎
16日(金)	〃 (総括質疑ほか)	〃	24日(火)	広報特別委員会	員弁庁舎
〃	議員全員協議会(フェロシルト問題の件ほか)	〃	31日(火)	北勢5市市長正副議長懇談会	鈴 鹿 市
19日(月)	総務常任委員会	員弁庁舎			
〃	教育民生常任委員会	大安庁舎			
〃	産業建設常任委員会	藤原庁舎			



広報特別委員会委員

後列左から

奥岡征士委員・位田まさ子委員・小林昌彦委員

前列左から

小川克己委員・衣笠民子委員長・伊藤弘美副委員長

編集後記

昨年11月、市議会議員選挙を経て、12月1日より24名の議員で新しい「いなべ市議会」がスタートしました。

広報編集委員会も「特別委員会」となり、新しい6名の広報委員で協力し、こうして議会だより第8号発行の運びとなりました。今回は、新しい「いなべ市議会」の紹介と12月議会の報告です。

さて、3月21日には阿下喜温泉がオープンします。議会は、この施設が市民にとって素晴らしい施設になるよう議論を重ねてきました。つきましては、今までの「議会だより」と併せてご覧ください。

今回は、今までの「議会だより」を踏襲して発行することになりましたが、今後、市民の皆さんのご意見を取り入れながら、より読みやすく、市民と議会をつなぐものにできるよう、委員一同研究を重ねていきます。どうぞよろしく申し上げます。

3月定例議会(予定)

◆開会日…3月 2日(木)

◆閉会日…3月22日(水)

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地

いなべ市議会 議会事務局

TEL (0594)74-5812/FAX (0594)74-5821

<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>